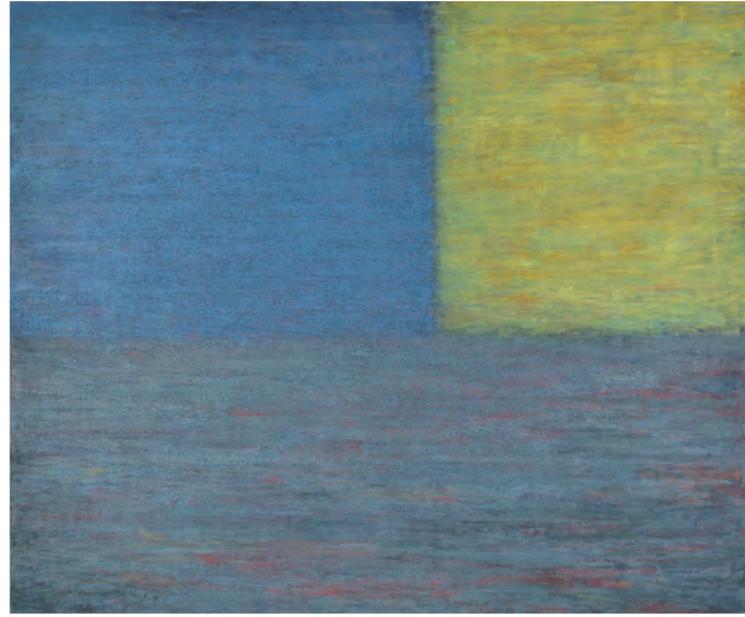


アートドキュメント2015 佐川晃司展 絵画—見ることの向こう



展会のみどころ

福井県出身で画家の佐川晃司氏の描く油絵は、ありのままの風景ではなく、五感を通して捉えた独特の風景が描かれています。会場でも厚く塗られた迫力のある画面から、画家の見た風景を自由に想像しながら静謐な作品世界と絵画の魅力を感じてください。

1月16日(土)～3月6日(日)

左：時の淵に(青) 2002年、油彩・キャンバス、230cm×190cm
右：風景のドーイング 2014、半紙に木炭、76.5cm×56.5cm 撮影：水谷内健次

わくわくアートスクール作品展

創作活動や作品鑑賞を通して、アートへの親しみを深め、表現力を養うことを目的に市内の小学4年生と中学1年生を対象に実施している「わくわくアートスクール」。今年の創作プログラムでは、小学生は陶芸手びねりによる植木鉢づくりを、

中学生はガラスのサンドブラストやエナメル絵付けの技法を用いたオリジナルグラスづくりを行いました。本展では、これらの作品、約480点を展示します。個性豊かな作品の数々をご覧ください。



エナメル絵付け



植木鉢(植物は参考)

かえつがまた 加越窯窯焚き

創作工房で、陶芸教室の行事の一つとして毎年11月下旬に行っている新窯が焚きあげられました。5日間薪を絶やさず続けることで、灰が少しずつ作品に降り積もり独特の景色を作り出します。

人の手を離れた自然の焼き上がりに、窯出し会では教室生のうれしそうな笑顔がたくさん見られました。



窯焚きの風景



窯焚き中の窯の中の様子



焼成後の窯出し前の作品

○(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL73-7800 <http://sosaku.jp/>

○アンビション(レストラン&森の結婚式)月曜休業(祝日の場合は翌平日休業) 問合せ アンビション TEL. 73-4141



幻想的な灯りでフィナーレ

◆12月12日(土)～13日(日) あわら温泉湯のまち広場
「ツナガルそしてツタエル」をテーマに8月から130日間開催してきた「あわら温泉開湯130周年祭」。フィナーレイベントの「あわら灯源郷」が行われ、2日間で約2500人が来場しました。

1300個の竹灯りが広場を幻想的な雰囲気に取り囲み、思わず足を止める来場者も。写真を撮ったり竹灯りの間をゆっくり歩いたりして、ロマンチックなひとときを過ごしていました。



▶点火ボランティアには約300人が参加しました。



ちはやふるでクリスマス気分を

◆12月12日(土)～19日(日) aキューブ



「ちはやふる week in あわら 2015」冬のイベント「ちはやふるイルミネーション」が開催されました。aキューブがカラフルなイルミネーションに彩られ、金津こども園の園児による発表や百人一首カードゲーム大会、JAZZライブなどが行われました。福井出身の声優・安済知佳さんのトークショーには多くのファンが訪れ、福井弁を交えたトークとクリスマスムードを満喫していました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



◀10年後に届く手紙を書くコーナーでは、自分や大切な人に伝えたい思いを手紙にしたためていました。



個性豊かな門松で福を迎える

◆12月18日(金) 吉崎小学校



毎年恒例の門松作りが行われました。児童たちは地元の大人3人から作り方を教わりながら、この辺りでは吉崎地区だけに生える「金明竹」という珍しい竹や笹、南天などを使ってミニ門松を制作。思い思いの飾りつけを行って、小さいながらも存在感のある華やかな門松を完成させていました。